

令和元年度 第1回 社会福祉施設・法人選考専門分科会議事要旨

- ・日時：令和元年7月17日（水）14：00～16：30
- ・場所：福祉局船場分室研修室
- ・出席者 石田委員、大仲委員、杉村委員、中川委員、西嶋委員、平田委員

1 議事について

【議案1】既設法人による特別養護老人ホームの増床

法人名：社会福祉法人みずき会

施設名：グリーンランドみずき

所在地：大阪市鶴見区緑三丁目

・質疑

〈委員からの主な質問・法人からの回答〉

- 1 「運営理念」において、介護職員の利用者に対する支援を「お手伝い」と表現している趣旨は。

「お手伝い」から発展して「介護」に転じると考えている。

- 2 「みずきの介護」とは何か。

普段から職員に「肩の力を抜くように」「コミュニケーションをください」等、職員が楽しめる、働きやすい職場づくりに努めている。それが、利用者へのサービス向上に資するものと考えている。

- 3 職員に対する資格取得等に係る支援実績はあるか。

介護福祉士の資格を60%～70%の常勤職員が取得している。

- 5 職員に対する処遇改善策はあるか。

住宅ローン手当、子育て支援手当等の経済的支援を実施している。

- 6 施設に対する利用者の満足度調査を行っているか。

介護職に対するアンケート調査を行っている。利用者、家族からも直接良いとの声をいただいている。

- 7 なぜ岡山の法人が大阪で事業を行うのか。

先代理事長が元々岡山出身であったが、大阪の大学へ通っていたため、機会

があれば大阪で実施したいと考えていたため。

#### 8 地域との関わり合いは何か。

見守り活動等を地域と協働で活動している。今後も活動していきたい。

〈委員の意見〉

- ・職員からの声を汲み上げて働きやすい職場づくりを行うことはよいことだが、利用者の視点からサービス向上の観点についても配慮されたい。
- ・利用者支援は「お手伝い」ではなく、介護保険制度の下で実施しているサービスであることを再認識いただきたい。

#### ・結果 適格

#### 【議案2】 既設法人による特別養護老人ホームの創設

法人名：社会福祉法人浩照会

施設名：(仮称) 特別養護老人ホーム大阪あじさい苑

所在地：大阪市住吉区住吉二丁目

#### ・質疑

〈委員からの主な質問・法人からの回答〉

##### 1 介護職員を全て常勤にすることは可能か。

できるだけ常勤職員を確保したいと考えているが、大阪の人材確保の状況は非常に厳しいとの状況も認識しており、常勤で全て賄えるとは思っていない。気を引き締めて介護職員を確保する努力を相当しなければならないと思っている。

フロア長、ケアマネージャー、事務職員は京都の施設からも充当したいと考えている。

##### 2 認知症ケア、ターミナルケアについてどう考えているか。

認知症に関しては介護職員全員が認知症に関する勉強が必要であると考えている。ターミナルケアに関しては、家族、医師の協力、介護職員の気持ちを踏まえることが必要であると考えている。

3 法人の経営している病院はいつ頃できたのか。経営状況はどうか。

35、6年前に建てられた病院であり、元来、当該病院と同じ地域内で介護施設を経営していたところ、当法人が当病院を譲り受け、同じ地域の中で医療と介護を一体化して実施することとなった。その後医師の補充や内部の運営の円滑化までに時間を要したが、ようやく安定的な稼働が可能となり採算が取れるようになった。また、高齢者のニーズに応える形で、整形外科及び循環器内科の診療体制が整備できたことや、今後大きな設備の入れ替えも無いこと等から、経営状況は安定してきている。

〈委員の意見〉

- ・大阪市内へ初めて事業展開をするにあたり、地域との関わり合いが必要となる。

・結果 適格